

International **TAKIFUJI** Art Award 2024

国際瀧富士美術賞

2024

第45期 奨学生 募集要項

文化庁後援



当協会の企画推進により、画家・絹谷幸二氏の原画・監修の元に制作された
ステンドグラス「ジュラシックえちぜん」

（ 設置場所：えちぜん鉄道 福井駅 改札口横 ）
（ 製作：クリアーレ熱海ゆがわら工房 ）

※このパブリックアートは一般財団法人日本宝くじ協会の「社会貢献広報事業」
として助成を受け整備されました。

文化・芸術の明日を担う皆さんへ



いま世界は文化の大競争時代にあります。文化はその国の人々の美的感性、モノとの向き合い方、振る舞いを反映し、文化を通してその国の真の姿がたちが見えてきます。自分たちの文化を知ってもらうことは、国の効果的なPRでもあるのです。

それ故、文化は安全保障とも関連しています。グローバル化によってビジネス、観光、交流にと、人々が地球上を大移動するようになって、共通言語でもある文化が大きな役割を担うようになりました。芸術やアートは人々の心の中に浸透し、誤解と不信を解き、相互理解を育む触媒にもなります。グローバル時代にこそ文化的な視点と思考が求められているのではないのでしょうか。

当協会が国際瀧富士美術賞を設立したのは、これから芸術家を目指そうという美大生を支援し、応援するためです。ささやかな額ながら、少しでも製作活動に役立ててほしいという思いもありましたが、それ以上に賞を受賞することで勇気と自信を持っていただきたいということです。「あなたは一人ではない。皆が見ている、こうして評価しています」というメッセージをお伝えする。これが賞の大きな目的です。

当協会は国際瀧富士美術賞以外にもさまざまな文化事業に取り組んできました。主要なものでは、駅での展覧会事業、公共空間にパブリックアートを設置する事業があります。このうちパブリックアートでは、ステンドグラスと陶板レリーフの作品を中心に全国558カ所に設置しました(2024年3月末現在)。また最近の取り組みでは「1%フォー・アート」法制化に向けての活動があります。これは公共工事費、もしくは公共建築費の1%を、その建築物に関連・付随する芸術・アートのために支出しようというもので、欧米では戦後早くからこれを制度化し、文化の振興と普及に大きな力となりました。日本でもこれが制度化されれば大きなインパクトとなるはずですが。

若者への支援と文化的実践の両輪をもって、些かなりとも文化に貢献したいと当協会は考えています。これからの「文化の時代」を担う若者の皆さんに、ぜひ国際瀧富士美術賞に応募していただき、将来への跳躍台としていただくことを期待しています。

2024年春
公益財団法人 日本交通文化協会
理事長 滝 久 雄

国際瀧富士美術賞の歩み

パブリックアートの振興・普及を進めてきた当協会は1980年、パブリックアートを担う若手芸術家を育てていくため、国内の美術・芸術系の学部を有する大学の学生(4年生)を対象に奨学金制度「瀧富士美術賞」を創設しました。1991年には対象を外国の美術大学にも広げ、「国際瀧富士美術賞」と改称しました。現在の参加大学は国内13大学、外国12大学で、外国は韓国、中国、シンガポール、英国、ドイツ、フランス、米国の7カ国です。2023年までの44年間に計868人の学生が奨学金(総額2億円以上)を受けました。過去の実賞者で芸術家や指導者として活躍されている方も多く、その中には青木野枝(1期)、奈良美智(5期)、ヤノベケンジ(9期)、小谷元彦(15期)の各氏もおられます。

募集概要

◆募集人数 20名程度
(各大学原則1名、審査委員会にて厳正審査の上で決定)

◆応募分野/専攻
主に、絵画・彫刻・デザイン・工芸・建築・現代美術(映像表現も含む)の分野

◆応募資格
下記美術・芸術系の学部を有する大学の第4学年に在籍し、指導教員(教授・准教授)の推薦を受けており、かつ当協会の活動およびパブリックアートに関心のある者(大学院・通信教育課程を除く)

【対象校】

- 日本 愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、金沢美術工芸大学、京都市立芸術大学、京都芸術大学、女子美術大学、多摩美術大学、東京芸術大学、東京造形大学、東北芸術工科大学、日本大学、広島市立大学、武蔵野美術大学
- 韓国 ソウル大学校、梨花女子大学校、弘益大学校
- 中国 清華大学美術学院
- シンガポール ラサール芸術大学
- フランス パリ国立高等美術学校
- ドイツ シュトゥットガルト公立美術アカデミー、ベルリン芸術大学
- イギリス ロンドン芸術大学、ロンドン大学
- アメリカ アートセンターカレッジオブデザイン、プラット インスティテュート

◆副賞

- ①奨学生に選出された場合、下記奨学金を結果発表後に銀行振込(一括給費)
・優秀賞 賞状・奨学金30万円
- ②受賞学生および推薦教授を下記の式典・見学会(11月中旬)へ招待
「授賞式・懇親会」(都内)
「クレーター熱海ゆがわら工房」見学会(静岡県熱海市)

応募概要

応募書類

- ①奨学生願書
- ②推薦書(指導教授・准教授の推薦に限る)
- ③学業成績証明書(第3学年までの成績、コピーは不可)
- ④作品資料
(2点以上10点まで、プリントとデータの両方を提出。
在学中に制作した作品であること)

※応募書類およびデータは返却いたしません。

※<https://jptca.org/scholarship/>から募集要項・キャプションラベルのダウンロード、および応募にあたっての諸注意の確認ができます。

問い合わせ・願書送付先

公益財団法人日本交通文化協会
瀧富士基金事業部『国際瀧富士美術賞』事務局
住所: 〒100-0006

東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル8階
電話: 03(3504)2221 E-mail: info@jptca.org
ウェブサイト: <https://jptca.org>
受付時間: 午前10時～午後5時(土日祝を除く)

※メール・お電話でご連絡の際は、【所属(大学・専攻)】【氏名】
国際瀧富士美術賞でお問い合わせの旨をご用件と共にお知らせください。
また、メールには連絡先を入れてください。



応募の流れ

◆募集締切日

2024年6月14日(金)必着
郵送または協会に直接持参にて提出
(締切日までに必着)

※持参の場合は、平日午前10時～午後5時まで受付可

◆結果通知/受賞者発表

通知…9月中旬以降、本人及び大学宛に通知します。
発表…10月下旬以降、日本交通文化協会ウェブサイト
およびSNSでも発表を行います。

◆授賞式および工房見学会

2024年11月中旬
工房見学会を含めて2日間を予定

◆応募者作品展

授賞式当日、小作品を懇親会会場に展示

◆受賞した場合の義務

以下2つのテーマのいずれか1つを選び、1200字程度の
レポートを10月末に提出

- ①環境芸術(パブリックアート)について
- ②卒業制作について

作品の提出について

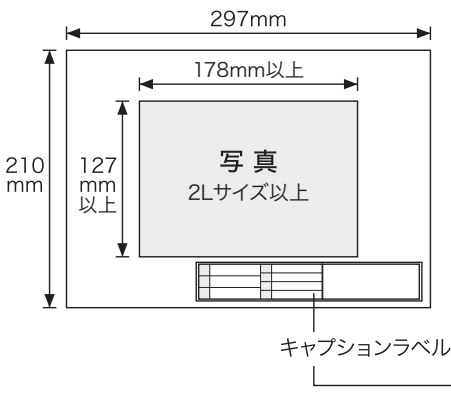
- 一次審査はプリント(2タイトル2枚以上合計10枚まで)で行います。また、映像(2点以下、各30秒以内)も審査対象です。
一次審査を通過した場合、画像・映像データを用いた最終審査を行います。
プリント・データともに、応募規約や条件に違反した場合は審査対象外となります。
- 1つのプリントには画像1枚だけを配置してください。複数の画像を1枚のプリントに並べて配置することはできません。
(1つの作品を複数アングル・拡大画像等で紹介する場合は、画像1枚ごとにプリント1枚で提出してください。)
- 平面作品の場合は、作品周辺の不要な箇所はトリミングしてください。
- 応募作品(上限10点)中2点に限り、30秒以内の映像の提出も認めます。提出した映像のスクリーンショットを必ずプリントでも提出してください。(代表部分に限ったスクリーンショット1枚のみを配置して提出。複数画像の配置は不可)
- その他、提出方法は募集要項および当協会ウェブサイト国際瀧富士美術賞・募集要項「よくある質問」を確認してください。
- 受賞に至った場合、発表で使用する作品(画像)は事務局で選定します。

プリントについて

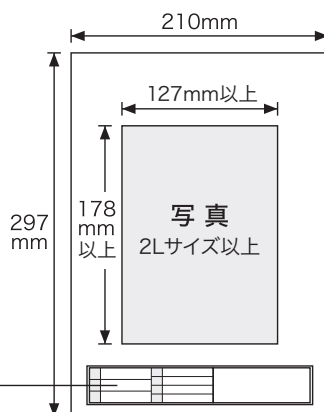
- (1)A4サイズ大の用紙中央に写真1点、また右下に必要事項を記入したキャプションラベルを配置したものを提出してください。
(下図参照 複数配置不可)
- (2)写真サイズは2L(178mm×127mm)以上にしてください。キャプションラベルで画像が隠れないよう注意してください。
※書類は並べて審査するため、クリアファイル等に入れないでください。また、厚紙やスチレンボード等には貼付しないでください。

プリント提出方法

〈横向きの場合〉



〈縦向きの場合〉



キャプションラベルについて(P4下参照)

必要事項を記入の上、各プリント下に貼ってください。

応募者と作品の基本情報のほか、以下の情報を所定の欄に記入してください。

- ・[優先順位]応募作品(最大10点)のうち、作品を優先的に見せたい順番を決め、記入してください(①～⑩で記入)
- ・[作品について]応募作品に関する説明を簡潔に記入してください

※キャプションラベルは<https://jptca.org/scholarship/>からもダウンロードできます。または、必要枚数をコピーしてください。

データについて

- (1) 画像データはJPEG形式(サイズは2450×1750ピクセル/350ppi推奨)指定です。なお作品周辺には余白・キャプションは入れず、作品部分の画像だけを提出してください。
- (2) 映像データがある場合は、1点のデータにつき30秒以内・拡張子はMP4の形式で保存してください。
- (3) 画像および映像データのファイル名は、ファイル名の文字化けを防ぐため、ローマ字表記にした英字タイトルにしてください。英文の場合はそのまま入力してください。
同タイトルの画像が複数枚ある場合、「title_01」等、ファイル名末尾に番号をつけてください。

※画像および映像データは、審査の過程で、液晶ディスプレイ・プロジェクター等による審査を行う際に使用します。

※作品の色は、プリントで提出されたものを基準に審査します。

※後日、別途画像・映像データ提出をお願いする場合があります。

データ提出方法

- (1) 画像・映像ともに1枚のDVD-Rに保存して提出してください。
- (2) DVD-Rのおもて面には氏名・大学名・専攻名を記入してください。

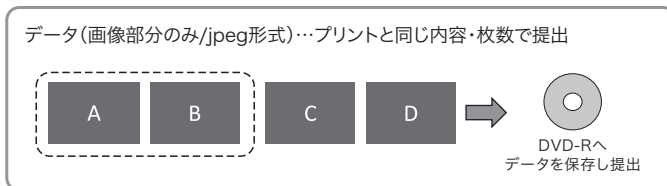
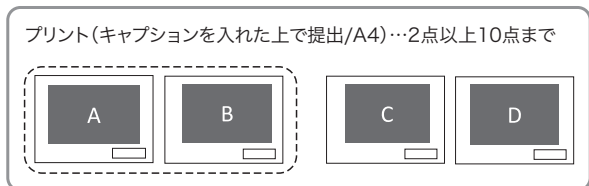


DVD-R(画像・映像)のおもて面に氏名と大学名・専攻名を明記

よくある質問

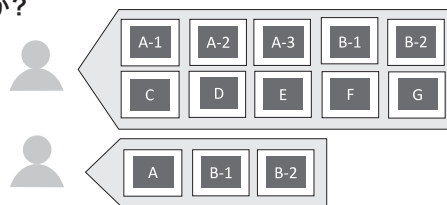
① 応募作品について“2タイトル2枚以上合計10枚まで”の“2タイトル以上”とはどういう意味ですか？

国際瀧富士美術賞では、最大10点に収まる枚数で作品(プリント+データ)の応募が可能です。応募作品の中には、必ずタイトルの異なる作品が2点以上入るようにしてください。 ※下図は4点で応募する場合の提出イメージです



② 『複数枚のプリントで応募が可能』の場合、どんな組み合わせの応募ができますか？

立体やインスタレーション作品などで、【遠くから】【近くから】【裏側から】など、様々なアングルで作品の説明をしたい場合、規定の応募点数の条件(2タイトル(2点)以上10点以下)を満たしていれば、複数枚のプリントで応募することができます。ご自身の作家性や魅力が伝わるような組み合わせをご検討ください。たとえば右記2パターンの組み合わせでの応募の場合、いずれも10点以下であり、異なるタイトルの作品があることで、2タイトル2点以上の条件を満たしています。



③ 映像の提出について『応募作品(上限10点)中、2点に限り、30秒以内の映像の提出も認めます。提出した映像のスクリーンショットを必ずプリントでも提出してください。』

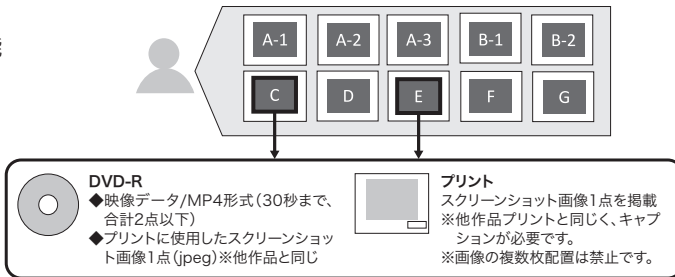
(代表部分に限ったスクリーンショット1枚のみを配置して提出。プリント1枚に複数画像の配置は不可)』

…とありますが、どのように応募すればよいですか？

例として、右記10点の応募で【タイトルC】【タイトルE】を映像作品として提出したい場合、映像データを含めて以下3点を提出すれば応募可能です。

- ・ 映像データ 合計2作品(各30秒以下)であれば応募可能(DVD-RにMP4形式で保存し提出)
- ・ プリント 映像作品のスクリーンショットを貼り付け(プリント1枚につき画像1枚)
- ・ 画像データ プリントに配置したスクリーンショット画像(DVD-RにJPEG形式で保存し提出)

※右図…太枠【タイトルC】【タイトルE】の作品を映像でも応募する場合のイメージ



氏名		タイトル				作品について
所属	大学名 専攻名	制作年				
		サイズ	W	×H	mm×D mm	
優先順位	※①～⑩で記入	素材				

国際瀧富士美術賞奨学生願書

公益財団法人 日本交通文化協会 御中

2024 年 月 日

以下の応募規約に同意し、添付書類同封の上、
国際瀧富士美術賞奨学生に応募いたします。

〈フリガナ〉

氏名

所属

大学

学部名

学科・専攻・コース名 ※省略せず記入してください。

本人
写真

推薦者氏名（教授・准教授） ※いずれかに○をしてください。

応募規約

- 応募規約並びに応募方法に違反する場合、また大学の判断により推薦取り下げとなった場合は、審査対象外となります。
 - 美術賞を受賞し奨学生となった後でも、応募規約および法令などに反していることが明らかになった場合は、その資格を取り消します。
- (1) 以下のいずれかに該当する作品は、審査対象外となります。
- ・ 当協会のウェブサイト・SNS、その他広報物で応募者個人の作品として公表できない作品
(例) 複数名によるグループ・ユニットや他アーティスト主導のプロジェクトで合同制作した作品
 - ・ 他の公募展及び美術賞で受賞した作品(入選は可)
 - ・ 第三者の著作権、肖像権、プライバシー、その他の権利を侵害し、又は侵害するおそれのある作品
- (2) 応募作品の著作権と作品情報の利用について
- 応募作品に関わる著作権は応募者に帰属するものとします。ただし、奨学生の氏名・大学専攻名・作品情報・作品画像データに関しては、制作年度を問わず、当協会が本事業を広報するための印刷物やウェブサイト、SNSなどに掲載できるものとします。また、当協会が本事業の記録として保存するために複製する必要があることを、あらかじめご了承ください。
- (3) 個人情報の取り扱いについて
- 応募時にご提供いただいた個人情報は、応募者に対する連絡、奨学生の選考及び発表のために厳重に管理の上使用し、選外もしくは応募対象外の場合は、当協会の責任において応募資料等を処分します。
- 奨学生に関しては、氏名や大学専攻名、応募作品画像を含む応募資料、顔写真や美術賞関連行事で撮影した写真を保存の上、美術賞事業運営上必要な場合に限り、使用・掲載します。
- (主に当協会の印刷物・ウェブサイト・SNS含む事業記録の公開や広報活動などで使用します)
- また、奨学金振込や工房見学会時の旅行保険申込など必要な場合に限り、当協会が別途奨学生に提出いただく情報を使用することをあらかじめご了承ください。

事務局記入

受付

番号

年

月

日

※以下、すべての項目に記入してください

●出願者情報

〈フリガナ〉 氏名		性別	西暦	年	国籍
			月	日生(歳)	
現住所	〒 電話 ()				
E-mail	※英数字・記号の違いが判別できるよう、丁寧に記入してください。				
上記以外の 緊急連絡先	〈フリガナ〉 氏名	本人との 続柄	-----		
	住所 〒	電話	()		
所 属	《大学名》	《学部・学科・専攻・コース名》	※省略せずに、正式名称を記入してください。		
	《所在地》〒	《研究室の電話番号》	()		

●出願理由

●応募の際、提出した作品について具体的に記入してください。(制作コンセプトあるいは技法の説明など)※別紙での提出は不可

●卒業制作のテーマや将来の計画、その他志望理由を記入してください。

●その他参考事項

●他の美術賞や公募展の受賞・入選歴・代表的な展示など

推 薦 書

公益財団法人 日本交通文化協会 御中

2024 年 月 日

大学名 大学 学部 学科

〈フリガナ〉

推薦者氏名（教授・准教授） 印

E-mail

下記の者は、実技優秀であり、国際瀧富士美術賞の趣旨に添う者と認めますので、奨学生として推薦いたします。

〈フリガナ〉

氏名

所属 学部 科 専攻
コース

第 学年（ 年 月入学）

推薦理由（入学時から現在までの実技及び学内外での活動、その他についてご記入ください）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご提出いただいた書類は、審査時に資料として使用します。また、メールアドレス宛に事務局よりご連絡させていただく場合があります。

✂
〈当協会に提出時切り取る〉

国際瀧富士美術賞 第44期(2023年)受賞者紹介

国際瀧富士美術賞では各大学1名に優秀賞を授与します。更に優秀賞を受賞した奨学生の中から、審査員による最終投票を行い、最も優れていると評価された優秀賞受賞学生に対して、日本からグランプリ1名、海外校から国際グランプリ1名を選出し、表彰しています。

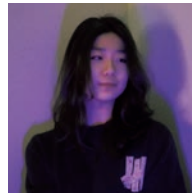
【グランプリ】



笠原莉花子
東京藝術大学
美術学部先端芸術表現科

「東京2020パラリンピック車椅子障害男子決勝」
映像

【国際グランプリ】



ジェニー(ジニン)チェン
アートセンターカレッジオブデザイン
(アメリカ)

「Divine(Decorative Accent Lamp)」
照明デザイン



受賞者とのコラボレーション

本郷芳哉「Inside-Outside」

ガラスと石によるパブリックアート

現在彫刻家としてご活躍中の本郷芳哉さんは国際瀧富士美術賞の第27期(2006年)受賞者。

埼玉出身の本郷さんは沖縄県立芸術大学美術工芸学部彫刻専攻を卒業後、東京藝術大学大学院を2009年に修了しました。

本郷さんはこれまで金属を主な素材として、空間と素材、身体的感覚を大切にしながら、境界をテーマとして美術館やギャラリー、芸術祭や公共空間を中心に多彩な彫刻作品を発表してきました。

2023年秋には日本交通文化協会が主催する上野駅での「交通総合文化展」内の企画「パブリックアート普及活動特別展」で、クレアール熱海ゆがわら工房の協力のもと、石で割ったガラスの破片をスタンドグラスの技法で繋ぎ合わせ、教会の窓をイメージしたフレーム上に再構築した作品「Inside-Outside」を制作。

透過する光と風景、そしてあちら側とこちら側の間にある境界を浮かび上がらせる、印象的な作品となりました。

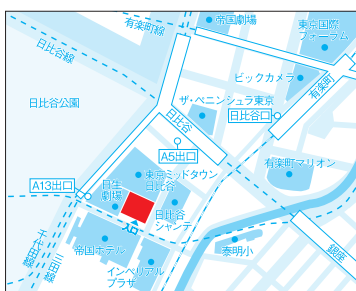
1982年 埼玉県生まれ

2006年 第27期国際瀧富士美術賞 受賞

2007年 沖縄県立芸術大学美術工芸学部彫刻専攻卒業

2009年 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

現在は彫刻家として活動し、個展や芸術祭などでの発表に加え、コミッションワークも数多く手がけている。



公益財団法人 日本交通文化協会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル8階

TEL:03(3504)2221 FAX:03(3504)2224

<https://jptca.org/>

公益財団法人 日本交通文化協会 Facebookページ

<https://www.facebook.com/jptca.org/>

国際瀧富士美術賞 Facebookページ

<https://www.facebook.com/international.takifuji.art.award/>